

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	図書館運営事業	会計	一般会計	事業No.	809	施策順No.	28-011
		事業種別	政策・その他	予算科目	10-5-5-11-1		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	図書館		
施策	28 学習交流活動の推進			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市民						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		飯田市の人口(人) (H21.10.01人口)	107259	106630	105691	105691	105691	
	意図	市民の求める資料を迅速かつ正確に提供することで、仕事と暮らしを支援し、市民が住み続けたいまちづくりや自ら学び育ち合うひとづくりの拠点とする。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	全市貸出総冊数(19館)(冊)	870685	907393	931423	770000	874499	900000	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ詳細】	中央図書館の耐震改修工事及び分館蔵書データ化事業の休館があったが、21年度実績の94%で、目標達成できた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	図書館協議会を開催し、図書館サービスの向上の指針とする。 市民の求める資料を確実に迅速に提供するために各種サービスを実施。 職員の資質向上を図る。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 図書館協議会を開催し、運営に活かす 2 図書・資料の貸出返却・レファレンス・書架整理・返本業務 3 図書・資料の予約・リクエスト受付処理 4 複写サービス業務 5 相互貸借業務	1 協議会 2 貸出内訳(1)中央 (2)県 (3)上郷 (4)分館 3 年間予約数 4 複写件数 5 相互貸借数	1 3回 2 874,499冊 (1)372,118冊 (2)139,959冊 (3)170,366冊 (4)192,056冊 3 40,385件 4 19,504件 5 借受1,379件 貸出1,597件 6 7 1件
23年度実施計画	1 図書館協議会を開催し、運営に活かす 2 図書・資料の貸出返却・レファレンス・書架整理・返本業務 3 図書・資料の予約・リクエスト受付処理 4 複写サービス業務 5 相互貸借業務 6 19館巡回業務/2町館間の搬送 7 図書館サービス計画の策定	1 協議会 2 貸出内訳(1)中央 (2)県 (3)上郷 (4)分館 3 年間予約数 4 複写件数 5 相互貸借数 6	1 3回 2 800,000 (1)390,000冊 (2)140,000冊 (3)160,000冊 (4)180,000冊 3 180,000冊 4 30,000件 5 2,300件 6 借受1050件 貸出1,000件 7 サービス計画

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
	一般財源		18,690	18,185	18,838	
	計(A)		18,690	18,185	18,838	
	正規職員所要時間			7,500		
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)			26,820		
	トータルコスト A+B			45,005		

4 事業に対する市民や議会の意見

--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	学びの機会が得られる。	施策の成果指標又はムトス指標	学習活動を行っている市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	中央図書館・地域館及び16分館を、市民の学びの場として位置づけ、予約やレファレンスを通じ着実に資料提供を伸ばしてきた。		
	後期に向けた課題	同上		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	図書館協議会などの意見を反映し、図書館サービスの向上に努めてきた。		
	後期に向けた課題	同上		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	なし		
	後期に向けた課題	特になし		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	図書館法で無料の原則が謳われている。		
	後期に向けた課題	特になし		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	特になし		
	後期に向けた課題	特になし		
全体を通じて	4年間の振り返り	着実に貸出冊数が伸びてきている。		
	後期に向けた課題	図書館サービス計画の策定と推進		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------